

# 北見市における景気動向調査報告書

< 第 III 四 半 期 >

北 見 商 工 会 議 所

## I. 調 査 要 領

### 1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成19年1月25日

(2) 調査対象期間 平成18年10月～12月期実績および平成19年1月～3月期見通しについて調査した。

### 2. 調査対象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

### 3. 回収状況

業種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
製造業	30社	22社	73.3%
建設業	30社	24社	80.0%
卸売業	30社	22社	73.3%
小売業	35社	20社	57.1%
サービス業	25社	16社	64.0%
合計	150社	104社	69.3%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

## II . 概 況

### 《 全 体 の 動 き 》

平成18年度第Ⅲ四半期<10月～12月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」16.4、「悪化企業」47.1、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△30.7となっています。このD・I値を前年同期比と比較してみると、前年同期比△41.3→今回30.7と10.6ポイント好転、「好転企業」が6.0ポイント増加、「悪化企業」が4.6ポイント減少しており、好転傾向を示しています。また前期比(<18年度第Ⅱ四半期>)との比較では前期比△35.2→今回△30.7と4.5ポイント好転しており、全体的に好転傾向の経済状況にあります。

今回の業況を業種別で見ると、製造業D・I値△18.2、建設業D・I値△8.4、卸売業D・I値△36.5、小売業D・I値△50.0、サービス業D・I値△50.0となっており、前年同期調査と比較すると建設業が43.9ポイント、製造業が12.9ポイント、小売業が9.9ポイントと好転傾向が見られたが、サービス業は3.9ポイント、卸売業は13.8ポイントと悪化傾向を示しています。全体的には若干回復傾向にあるものの、業種別での改善傾向と悪化傾向の数値の差が大きいため、まだまだ予断を許さない状況にあります。

また、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」8.7%「悪化企業」47.1%でD・I値△38.4と、前年同期見通し(△39.0)に比べ0.6ポイント改善傾向、前期調査との比較では11.8ポイントの悪化傾向であり、前年同期比とは横ばいですが厳しさのある来期見通しとなっています。

### 《 業 種 別 の 動 き 》

- |          |       |   |
|----------|-------|---|
| 1) 製 造 業 | 生産高   | 前年比で「増加企業」18.2%、「減少企業」31.8%、D・I値△13.6と前年同期に比べ23.8ポイントの大幅な好転、前期調査との比較でも9.1ポイント好転しており、3期連続で好転傾向を示しています。                                 |
|          | 採 算   | 前年比で「好転企業」4.5%、「悪化企業」45.5%、D・I値△41.0と前年同期に比べ0.9ポイントの悪化、前期調査との比較でも7.6ポイント悪化、生産高は好転しているものの、採算性はここにきて悪化傾向を示しました。                         |
|          | 来期見通し | 業況D・I値△13.7、生産高D・I値△18.2、資金繰りD・I値△18.2と、前年同期に比べ全てのD・I値は好転を示しており、前期調査との比較でも生産高D・I値は悪化しているものの業況・資金繰りD・I値は改善を示しており、全体的に明るさのある見通しとなっています。 |
| 2) 建 設 業 | 完成工事高 | 前年比で「増加企業」37.5%、「減少企業」33.3%、D・I値4.2とプラス値を示し、前年同期に比べ56.6ポ  |

イントの大幅な好転、前期調査との比較でも33.4ポイントの大幅な好転傾向を示し、2期連続で好転の傾向を示しています。

採 算

前年比で「好転企業」29.2%、「悪化企業」45.8%  
D・I値△16.6と前年同期に比べ53.4ポイントの大幅な好転、前期調査との比較でも37.6ポイントの大幅な好転傾向を示しており、明るい状況となっています。

来期見通し

業況D・I値△45.9、完成工事高D・I値△37.5、  
資金繰りD・I値△29.2と前年同期に比べ資金繰りD・I  
値が若干悪化傾向、他のD・I値は若干好転傾向にありますが  
ほぼ横ばいの状況で、前期調査との比較でも、資金繰りD・I  
値の8.2ポイントをはじめ全てのD・I値が改善傾向を示し  
ておりますがまだ数値も高く、予断を許さない来期見通しとな  
っています。

### 3) 卸 売 業

売 上 高

前年比で「増加企業」31.8%「減少企業」50.0%、  
D・I値△18.2と前年同期に比べ9.1ポイントと悪化傾  
向を示しています。また、前期調査との比較でも4.6ポイン  
トの悪化傾向を示しており、前期回復傾向にあったものの再び  
悪化傾向を示しています。

採 算

前年比で「好転企業」13.6%、「悪化企業」45.5%、  
D・I値△31.9と前年同期に比べ18.3ポイントの大幅  
な悪化傾向を示しています。また、前期調査との比較でも9.  
1ポイントの悪化傾向を示しており、引き続き厳しい状況とな  
っています。

来期見通し

業況D・I値△27.3、売上高D・I値△22.8、資金  
繰りD・I値△13.6と前年同期に比べすべてのD・I値が  
大幅な悪化傾向を示しており、資金繰りD・I値は9.0ポイ  
ントの悪化を示しています。前期調査との比較でも同様に、特  
に売上高D・I値は18.2と大幅な悪化傾向を示し、前回一  
部明るさが見えつつあったものの厳しい来期見通しとなってい  
ます。

### 4) 小 売 業

売 上 高

前年比で「増加企業」20.0%「減少企業」55.0%、  
D・I値△35.0と前年同期と比べて18.3ポイントと大  
幅な好転傾向を示しています。また、前期調査との比較でも5.  
0ポイントと好転傾向を示しており、好転傾向を示しています。

採 算

前年比で「好転企業」10.5%「悪化企業」52.6%、  
D・I値△42.1と前年同期と比べ14.9ポイントの大幅

な好転傾向を示しておりますが、前期調査との比較では0.1ポイント悪化とほぼ横ばいの数値を示しています。全体的に回復傾向を示しておりますが数値はまだ高く、予断を許さない状況にあります。

来期見通し

業況D・I値△55.0、売上高D・I値△55.0、資金繰りD・I値△50.0と、前年同期と比べ業況・売上高D・I値はほぼ横ばいですが資金繰りD・I値が43.4ポイントの大幅な悪化傾向を示しています。前期調査との比較ではすべてのD・I値が40～45ポイントの大幅な悪化傾向を示しており、前期好転傾向にあったものの今回ここ1年間で一番高いマイナス数値を示し、先が見えない大変厳しい来期見通しとなっています。

5) サービス業

売上高

前年比で「増加企業」12.5%、「減少企業」62.5%、D・I値△50.0と前年同期と比べ11.6ポイントと大幅な悪化傾向を示しています。また、前期調査との比較では2.9ポイントの好転傾向を示しておりますが、数値は高く依然として厳しい傾向にあります。

採算

前年比で「好転企業」12.5%、「悪化企業」75.0%、D・I値△62.5と前年同期と比べ16.4ポイントと大幅な悪化、前期調査との比較では8.1ポイント改善しておりますが、数値も高く厳しい経済環境を示しています。

来期見通し

業況D・I値△56.3、売上高D・I値△50.0、資金繰りD・I値△43.8と前年同期と比べD・I値はすべて悪化、前期調査との比較でもすべて悪化傾向を示しており、前期改善傾向の兆しが見えつつあったものの再び大変厳しい来期見通しとなっています。

## 業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	同業者間の競合	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	人 件 費 増	人 材 不 足
建 設 業	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	同業者間の競合	人 材 不 足	人 件 費 増
卸 売 業	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増
小 売 業	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	同業者間の競合	人 件 費 増	売 掛 金 回 収 難
サービ業	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 件 費 増	資 金 調 達 困 難
合 計	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 件 費 増	人 材 不 足

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。